

<p>全体目標</p>	<p>がんにより死亡する人の減少 (75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)</p>	<p>すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上</p>	<p>がんになってもしっかりして暮らせる社会の構築</p>																				
<p>部会が担当する分野の課題と目標</p>	<p>【目標】あるべき姿：県民全員ががんの予防、検診、治療に関する一般知識をもち、がんになった時に適切な判断、行動することを目指す。</p> <p>中期目標(2年)平成26年度までにメディア、教育機関、各自治体、企業を通じて、一般市民ががんについての正しい情報を得られるような環境整備が整っている 指標：講演会参加者数、コンテンツ応募数、市町村別検診受診率 測定方法：講演会満足度アンケート調査</p> <p>最終目標(5年後)：一般市民ががんに関する基本的な知識を持ち、がんになったときに適切な判断、行動することができ 指標：(中期目標と同じ) 測定方法：(中期目標と同じ)</p>																						
<p>施策毎のアウトカム目標</p>	<p>【アウトカム目標1】 県民が定期的ながん情報を得ることができる</p>	<p>【アウトカム目標2】 学生のがんに関する知識・関心が向上する</p>	<p>【アウトカム目標3】 学校教育へがんに関する教育の導入、校内での自主的ながん講演会の開催(教員向け、PTA向け)の定期開催)</p>	<p>【アウトカム目標4】 各市町村主催の一般市民向け講座の開催によりがん検診率が向上する</p>	<p>【アウトカム目標5】 職場検診受診率の向上</p>																		
<p>施策毎のアウトプット目標</p>	<p>①マスコミを対象としたセミナーを年4回実施する ②報道回数 新聞2社：12回/年 テレビ局4社：18回/年 ラジオ局4社：18回/年</p>	<p>①離島圏を含む中高生を対象としたがん啓発ポスターコンテストの実施(離島県を含めた学校へ依頼する) ②ポスターの受賞作は、平成29年3月までに宮城県と提携し、牛乳パックの広告欄に掲載する</p>	<p>小中高校PTA200名/年が講演会に参加し、アンケート調査(標準治療の基本的な語彙を知っている)を行う (1年間で小中高いずれかの学校1校にて講演)</p>	<p>平成29年3月までに1回、学校教員向けに、学習会や、児童・生徒に対する授業を実施し、がんに関する授業を企画、放送する (1年間で小中高いずれかの学校1校にて講演)</p>	<p>平成28年9月までに専門的および標準的医療機関(25施設)へのがん種別の担当医リストの更新の依頼をかける。 ②平成28年12月が最新のHP更新)の公開(各病院・協会のHP)</p>	<p>①平成28年7月までに、拠点病院・支援病院へ、一般向け講演会の講師リストの更新の依頼をする。 ②平成28年11月リストの公開(各病院・協会のHP更新) ③平成29年2月までにリストの簡易版を制作し、学校関係・市町村・企業に配布する</p>	<p>がん征圧キャンペーン月間において、がん検診受診啓発、小児がんや希少がんの認知のための、ラジオ番組を企画、放送する</p>	<p>①平成29年3月までに1回、学校教員向けに、学習会や、児童・生徒に対する授業を実施し、がんに関する授業を企画、放送する (1年間で小中高いずれかの学校1校にて講演)</p>	<p>【施策1】 ①マスコミに正しいがん情報をレクチャーする ②一般市民に正しいがん情報を発信する</p>	<p>施策アクションプラン</p>	<p>【施策2】 中高生に対するがん啓発ポスターコンテストの実施、牛乳パック広告への掲載</p>	<p>【施策3】 ①各市区PTAに向けて、講演会の講演者リスト、要項を配布する ②小中高PTA向け講演会の開催とアンケート調査</p>	<p>【施策4】 学校教育者向けのがん教育についての研修会を実施する</p>	<p>【施策5】 児童・生徒に、がんに関する授業を行う</p>	<p>【施策6】 がんの予防・検診・治療等、県民全体へのがん啓発番組を企画する</p>	<p>【施策7】 一般向け講演会の講師リストを公開・配布し、講演会を実施する</p>	<p>【施策8】 専門的な病院における、がん種別の担当医を公開する</p>	<p>【施策9】 職場でのがん検診に対する理解、普及啓発及びがん検診率のUPを推進する</p>	<p>導き出された対策項目</p>	<p>【対策項目1】 県内メディアへ通じての正しいがん情報の提供</p>	<p>【対策項目2】 県教育委員会、学校教育機関、またはPTAを媒体としたがん啓発活動</p>	<p>【対策項目3】 一般市民に対する正しい情報の提供を行なう</p>	<p>【対策項目4】 職場の理解、企業での検診の義務強化</p>

第6回 がん検診啓発ポスターデザインコンテスト



最優秀賞
知念高校 3年
玉城 亜門



優秀賞
上山中学校 2年
城間 紗里衣
2015年 第5回 がん検診啓発ポスターデザインコンテストの受賞作品



優秀賞
大里中学校 2年
仲吉 菜々子



アイデア賞
上野中学校 3年
西里 琉夏



アイデア賞
山内中学校 1年
幸地 純矢

現在、日本人の二人に一人が「がん」になると言われており、沖縄県でも罹患率は高く、その原因の一つにがん検診を受診せず早期発見できなかったことがあると言われています。
普及啓発活動の一環として、がん検診啓発ポスターコンテストを実施することで、がん予防に関する情報提供やがん検診受診率の向上を目指します。あなたの言葉とあなたのイメージで描いたオリジナルポスターで、がん検診率のUPとがん検診のPRをしてみませんか。

募集の趣旨

毎年9月1日～30日までの間は、がん征圧キャンペーン月間です。そこで、がん診療連携協議会・普及啓発部会では、沖縄県内の中学生・高校生みなさんにがんという病気への理解を深め、がん検診の大切さを知っていただくことを目的に、ポスターの募集を行います。

募集期間

平成28年9月1日(木)～10月14日(金)

主催：沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会
後援：沖縄県教育委員会

応募対象

沖縄県内の中学生、及び高校生

応募方法

応募の方は、①氏名 ②学校名 ③学年 ④連絡先(住所・電話番号) ⑤作品に対する説明をお書き下さい。

(1)グラフィックポスター 縦A4サイズ(JPEG変換)で応募の方:

件名に「がん検診啓発ポスターコンテスト」と記入、本文に応募者情報①～⑤をご記入の上、メールアドレス mail@ryukyucc.jp まで送信

(2)手書きポスター 縦A4サイズで応募の方:

応募者情報①～⑤をご記入のうえ、下記お問合わせ先までご郵送ください。

審査区分・賞

最優秀賞 1点、(賞状 副賞) 優秀賞・アイデア賞 各1～2点、(賞状 副賞)

応募の規定

- ・A4サイズ、縦書きのみを審査対象とします。それ以外は、対象外となります。
- ・文字数に限りは無いですが、「～〇〇〇〇～がん検診」と入れてください。
- ・「～〇〇〇〇～がん検診」の「がん」の文字は、ひらがなで書いてください。
- ・応募作品は一人一作品とします
- ・未発表作品に限ります
- ・入賞作品の使用権は本部会に帰属するものとします

お問合わせ先

〒903-0215 西原町字上原207

琉球大学医学部附属病院がんセンター 担当:井上 ainoue@jim.u-ryukyu.ac.jp

※上記のEメールでは、お問い合わせのみ受け付けております。作品の応募は受け付けておりません。

最優秀作品は沖縄県がん診療連携普及啓発部会のがん検診啓発ポスターとして使用します。
また、がん診療連携協議会 HP : <http://www.okican.jp/> に掲載されます。

平成 28 年 6 月 14 日

各中学校長
各高等学校長 殿
各特別支援学校長

沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会
会長 長井 裕
琉球大学医学部附属病院がんセンター
センター長 増田昌人

がん検診啓発ポスターコンテスト実施について（ご依頼）

拝啓 貴校におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、近年、我が国における死亡率の 1 位が「がん」であることは、既にご存知かと存じます。特に沖縄県に関しましては、男性：大腸がん 女性：子宮がんの罹患率が最も高く、そのほとんどは、がん検診を受診せず早期発見できなかったことが原因であると言われております。私ども「沖縄県がん診療連携協議会・普及啓発部会」では、沖縄県における、がん検診受診率の向上を目指し、がん情報の発信や、がん医療に関する普及啓発活動を行っております。

当部会では、平成 22 年度より若年者に対するがん検診啓発活動として高校生を対象に「がん検診啓発ポスターコンテスト」を実施しております。その結果、多くの学生及び学校関係者へ検診や予防の重要性について周知することができました。しかしながら、現状としては若年者への啓発活動は未だ十分とは言えず、継続的な活動が必要であると考えております。

つきましては、貴校での学生の皆様においては関心を持つだけでなく、自らががん検診の啓発者として発信していくことを期待し、以下の企画を予定しております。

（2 枚目実施要項をご参照ください）

本企画を通じ、多くの学生及び学校関係者の皆様が少しでもがん検診について正しい知識を持ち、受診率向上に繋がることを期待しております。 敬白

ポスターコンテストにつきましては、美術科、情報処理科のご担当職員へ御案内頂けましたら幸甚です。

お問い合わせ先：

琉球大学医学部附属病院がんセンター

事務担当：井上 亜紀

〒903-0215 沖縄県西原町字上原 207

Tel:098-895-1368（内線 1368）

Eメールアドレス：ainoue@jim.u-ryukyu.ac.jp

主催：沖縄県がん診療連携協議会・普及啓発部会

がん検診啓発ポスターコンテスト

目的

我が国における死亡率の1位は「がん」であり、日本人の二人に一人「がん」になると言われています。沖縄県についても罹患率は高く、そのほとんどは、がん検診を受診せず早期発見できなかったことが原因であると言われています。そこで、普及啓発活動の一環として、がん検診啓発ポスターコンテストを実施することにより、作成者および家族、またその関係者へがん予防に関する情報提供やがん検診受診率の向上を図ることを目的としています。

募集内容

ご送付しましたチラシを参考に、検診率をアップさせるためのオリジナルポスターをお待ちしています。あなたの言葉とあなたのイメージで、がん検診率のUPとがん検診のPRをしてください。

1. 参加(応募・提出)方法 (A4サイズ、縦書き以外は審査対象外)

(1) グラフィックポスター 縦 A4 サイズ JPEG

(2) 手書きポスター 縦 A4 サイズ

2. 作品応募注意事項

- ・A4サイズ、縦書きのみを審査対象とします。それ以外は、対象外となります。
- ・文字数に限りは無いですが、「～〇〇〇〇～ **がん検診**」と入れてください。
- ・「～〇〇〇〇～ **がん検診**」の「**がん**」の文字は、**ひらがな**で書いてください。
- ・デジタル作成の場合は jpeg へ変換してご応募ください
- ・一人一点のみの応募可能です
- ・未発表作品に限ります
- ・入賞作品の使用権は本部会に帰属するものとします

3. 応募対象

沖縄県在住の中学1年～3年生 と 高校1年～3年生

4. 応募締切日・応募送付先・問い合わせ先

平成28年10月14日(金) 締切 (当日の消印有効)

5. 応募者情報

応募の方は、①氏名 ②学校名 ③学年 ④連絡先(住所・電話番号) ⑤作品に対する説明をお書き下さい。

参加方法(1)で応募の方

タイトル「がん検診啓発ポスターコンテスト」と記入、本文に応募者情報をご記入のうえ、

メールアドレス mail@ryukyucc.jp まで送信

参加方法(2)で応募の方:

(1)と同様、応募者情報①～⑤をご記入のうえ、下記お問い合わせ先へご郵送ください。

お問い合わせ : 〒903-0215 西原町字上原 207 琉球大学医学部附属病院がんセンター
担当: 井上 ainoue@jim.u-ryukyu.ac.jp

※上記の E メールでは、お問い合わせのみ受け付けております。作品の応募は受け付けておりません。

5. 賞

採用作品ポスター

最優秀賞 1点 (賞状 商品)

優秀賞 1～2点 (賞状 商品)

アイデア賞 1～2点 (賞状 商品)

尚、受賞作品は沖縄県がん診療連携普及啓発部会のがん検診啓発ポスターとして使用、また、がん診療連携協議会 HP に掲載されます。

沖縄県がん診療連携協議会 HP: <http://www.okican.jp/>

6. 審査

本協議会が選任した審査委員により、採用作品を選考します。

7. 発表

平成28年12月下旬、受賞者の学校へ直接連絡します。また、当協議会 HP でも発表予定。

※受賞していない方への連絡は致しません。

8. 表彰式

平成29年2月17日(金)に開催予定の沖縄県がん診療連携協議会にて、表彰式を執り行います。受賞者、及び担当職員(もしくは代理の職員)のご出席(引率)をお願いします。

9. 応募作品の著作権に関わる注意事項

入賞作品の使用権は本部会に帰属するものとします。

10. 応募者の個人情報の取り扱いについて

ご応募いただきました方の個人情報は、本部会が厳重に管理し、当事業以外の目的には一切使用いたしません。

11. 平成 27 年度の受賞作品



平成 27 年度
最優秀賞：
知念高等学校
3年 玉城 亜門さん



平成 27 年度
優秀賞：
那覇市立上山中学校
2年 城間 紗里衣さん



平成 27 年度
優秀賞：
南城市立大里中学校
2年 仲吉 菜々子さん



平成 27 年度
アイデア賞：
宮古島市立上野中学校
3年 西里 琉夏さん



平成 27 年度
アイデア賞：
沖縄市立山内中学校
1年 幸地 純矢さん

平成 28 年度 第 1 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会

【日 時】平成 28 年 4 月 26 日 (火) 15:00~17:00

【場 所】琉球大学医学部附属病院 3 階 がんセンター

【参加者】 6 名：長井 裕 (琉大病院産婦人科)、長野 宏昭 (県立中部病院)、
松野 和彦 (那覇市立病院)、山本 孝夫 (県立八重山病院)
大湾 盛治 (患者の立場の者)、増田 昌人 (琉大病院がんセンター)

【欠席者】 3 名：奥平 忠寛 (県立宮古病院)、又吉美奈子 (沖縄県教育庁)、
赤松 道成 (北部地域医師会病院)

【陪席者】 1 名：井上 亜紀 (琉大病院がんセンター)

【報告事項】

1. 平成 27 年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

資料 1 に基づき、平成 27 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。長井部会長より、【施策 9】企業へのアンケート調査は、「がん対策基本法」の改正で目指している「安心して働ける社会」に向けて施策を進めてはどうかとの提案があり了承を得た。

2. 【施策 2】がん検診啓発活動(ポスターコンテスト)の企画・牛乳パック広告(宮平乳業)について

資料 2 に基づき、長井部会長より、今年度も無償で(株)宮平乳業社の牛乳パックの広告欄に、がん検診ポスターコンテストの受賞作品(最優秀賞)を掲載して頂くことになったとの報告があった。事務方より、4 月初旬からこのデザインの牛乳パックが小売市場に出回っているとの報告があった。長井部会長より、店頭での陳列棚を多く占める低価格牛乳への広告を検討いただけないかとの提案があり、先方に要望してみることが了承された。

3. 【施策 4】学校教育機関または PTA を媒体としたがん啓発活動

資料 3 に基づき、長井部会長より報告があり、協議がなされた。

①養護教諭 5 年 10 年経験者研修 {平成 28 年 8 月 3 日(水)}

講師については昨年と同様、がんセンター長の増田委員と琉大病院骨髄センター長の百名先生を講師として、「がんの総論」、及び「小児がんについて」のテーマで、養護教諭 5 年経験者研修会を行うことが承認された。

②中学校・高等学校における「がんの教育」研究授業 {平成 28 年 9 月~12 月}

文部科学省、厚生労働省から、「学校におけるがん教育への協力について」の事務連絡があり、「がん教育教材」及び「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」を作成したので、教育委員会からの要請に応じ、がん教育の推進への協力依頼があったことが周知された。沖縄市立宮里中学校では 11 月 16 日(水)予定、沖縄県立名護高等学校では 11 月下旬~12 月初旬予定であり、講師派遣の依頼があれば教育庁と調整して進めて行くことが承認された。

4. 平成 27 年度の事業計画の評価(最終)について

資料 4 に基づき、長井部会長より、【施策 2】ポスターコンテスト、【施策 4】学校教育者向け研修会、【施策 7】ラジオ特別番組、は 10 点とし、【施策 1】メディアセミナー、【施策 3】学校 PTA 向け講演会、【施策 10】企業へのアンケート及び講演会、は未完了のため減点とした。【施策 8】一般向け講演者リストの更新及び公開、【施策 9】がん種毎担当医リスト作成および公開は、若干の修正を行い HP へアップしての評価も検討するので、7 点とした。【施策 5】指導・生徒を対象とした「がん教育」における講演会は、次年度研究授業実施への準備を整

えたので5点とした。

5. その他

(1) がん対策基本法改正案へのパブリックコメントの募集について

増田委員より、「国会がん患者と家族の会」において、「がん対策基本法改正案骨子」をとりまとめ、4/22～5/6までパブリックコメントを募集しているとの周知があった。

(2) ハローワーク 就労支援ナビゲーターの設置について

増田委員より、がん患者など長期療養中の人の就業支援に向け、琉球大学医学部付属病院と那覇公共職業安定所は、那覇公共職業安定所で長期療養者就職支援事業の実施協定を締結したとの周知があった。協定締結によりハローワーク那覇は専門の相談員「就職支援ナビゲーター」の相談窓口を設置し、長期の治療が必要な患者の就職支援に向け、相談に応じる。

【協議事項】

1. 平成28年度の部会委員、部会長、部会委員の選定について

資料5に基づき、事務局の増田委員より部会委員の説明があり、部会長には前年度に引き続き、長井部会長にお願いすることになり、副部会長は、那覇市立病院の松野委員と県立中部病院の長野委員に依頼することが了承された。

2. 平成28年度の行動計画について

資料6に基づき、事務局の増田委員より、近年、事業の増加により負担感が増えたので、施策を絞り込むことが了承された。長井部会長より、【アウトカム目標1】と【アウトカム目標4】を統合して、シンプルな表現にしようかとの提案があり、了承された。また、各施策は、今後部会で検討していくことが了承された。

【施策1】メディアセミナーは当面休止、増田委員のマスコミへのレクチャーは年4回実施、うちなーがんじゅうネットの有効的な活用と周知。報道回数の記載は削除。

【施策2】ポスターコンテストは例年通り実施。スーパーなどへの巡回ポスター展示会やラジオ番組での広報などを検討。

【施策3】 【施策4】 【施策5】 学校教職員、PTAへのがん啓発活動としての研修会の実施、新たに生徒へのがん教育研究授業の実施(担当教職員への事前レクチャーの検討や既存資料を用いたスライド作成など)。PTA向けの研修は、受け取る側も多種多様であり難しい面もあるが、例年通り関係団体へ依頼。生徒への授業は、授業を受ける生徒自身に「問いかけ、考えてもらう」といったシンプルな内容を検討。

【施策6】 がん啓発ラジオ番組は例年通り実施(ポスター展示会の開催地の募集の案内、協議会のラジオCMの制作放送)。施策1と施策6の合体を検討し、がん検診の受診率向上としてまとめることを検討。

【施策7】 一般向け講演者リストの更新。HPの記載内容のシンプル化、部会委員の先生の簡易版リストの掲載を検討

【施策8】 がん種別の担当医リストの更新。セカンドオピニオンリストとの統合、一般の方にもわかりやすい表記などを検討。

【施策9】 企業向けのアンケート調査は、県がん対策班の「がん患者の就労支援」に向けての事業内容を確認し、部会で検討し協力したい旨を相談、アンケート内容の検討。

3. 平成 28 年度の予算について

資料 7-1, 7-2 に基づき、経費内訳の確認が行われ、昨年度と同様に、【施策 2】がん検診啓発ポスターコンテストでのポスター印刷のように各拠点病院での経費分担、【施策 6】協議会のラジオ CM の制作放送)を検討するなど、協議の上、予算案が了承された。

4. その他

参考資料に基づき、事務方より、知念高校の平成 27 年度発行の生徒作品集の中に、ポスターコンテスト最優秀賞の玉城亜門さんの作品(宮平乳業牛乳パック広告)の掲載があり、学校への取り組みもの、部会事業が周知されたことが報告された。

5. 次回以降の普及啓発部会 開催日について

(1)次回、第 2 回 普及啓発部会 開催日について

第 1 候補日 : 7 月 19 日(火)15:00~

第 2 候補日 : 7 月 26 日(火)15:00~

(2)次回、第 3 回 普及啓発部会 開催日について 【ポスターコンテスト：予備審査】

第 1 候補日 : 10 月 25 日(火)15:00~

第 2 候補日 : 11 月 1 日(火) 16:00~

(3)次回、第 4 回 普及啓発部会 開催日について

第 1 候補日 : 11 月 29 日(火)15:00~

第 2 候補日 : 12 月 6 日(火) 16:00~